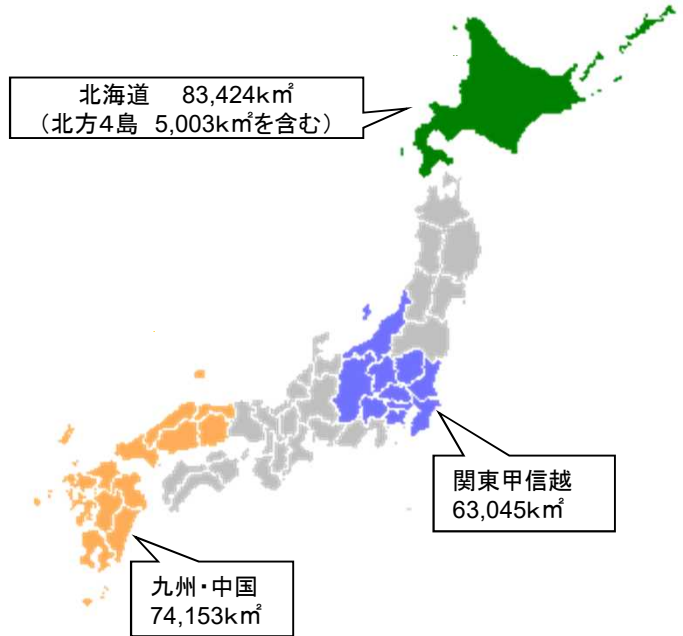


## 参考資料: 北海道の現状

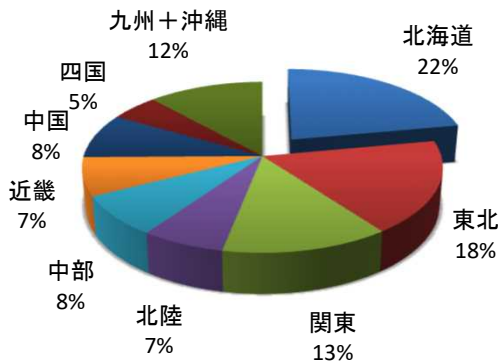
### 面積

北海道の面積は8万3,424 km<sup>2</sup>で、国土のおよそ22%を占める。

全	国	377,975km <sup>2</sup>					
北	海	道	83,424km <sup>2</sup>				
全	国	比	22.1%				
関	東	甲	信	越	63,045km <sup>2</sup>		
九	州	+	中	国	地	方	74,153km <sup>2</sup>
オ	ー	ス	ト	リ	ア	83,878km <sup>2</sup>	
韓	国	100,339km <sup>2</sup>					



### 【国土に占める北海道の面積比】



注1: 全国と北海道の面積は、北方領土(歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島)5,003km<sup>2</sup>含む。  
注2: 画質及び紙幅の関係上、全ての島嶼を本地図中で正確に表記できていないものではない。

出典: 総務省統計局「世界の統計2020」  
国土地理院「令和元年全国都道府県市区町村別面積調」

### 人口

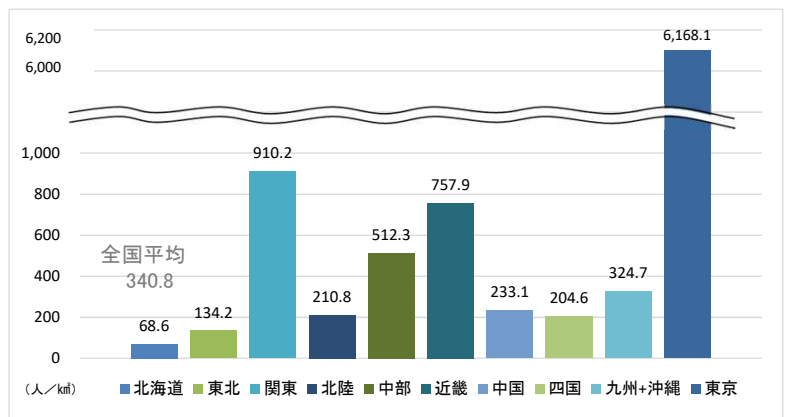
北海道の人口は約538万人(対全国比約4.2%、47都道府県中8位、人口密度は1km<sup>2</sup>当たり68.6人(全国の約5分の1)(平成27年)となっており、広い地域に人が分散して居住する広域分散型社会を形成している。

### 人口

全	国	1億2,711万人	
北	海	道	538万人
全	国	比	4.2%

### 人口密度

全	国	340.8人/km <sup>2</sup>	
北	海	道	68.6人/km <sup>2</sup>



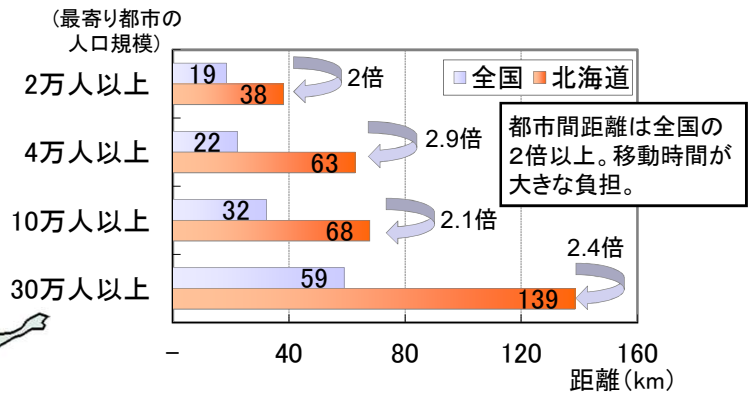
出典: 総務省統計局「平成27年国勢調査」  
※人口密度算出にあたり、北方領土は除かれている。

## 広域分散型社会の課題

### 【北海道の広さ】

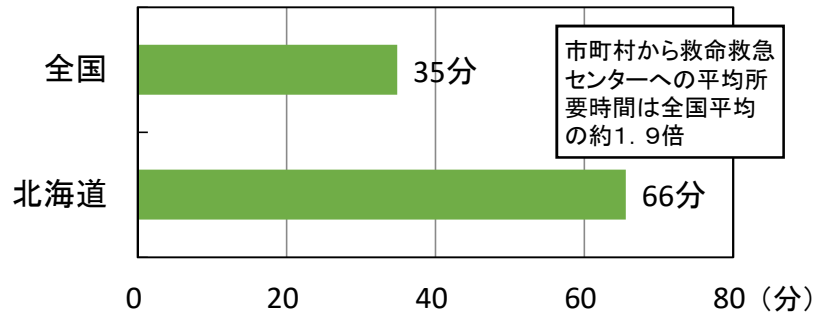


### 【最寄り都市までの平均道路距離】



注: 全国は北海道を除く。集計には離島を含まない。  
 ※最寄り都市までの平均移動距離とは、対象人口規模未満の都市から対象人口の都市までの道路距離の平均値。  
 資料: NITAS(総合交通分析システム) Ver.2.6(2020年3月)を用いて集計

### 【救命救急センターへの平均所要時間】

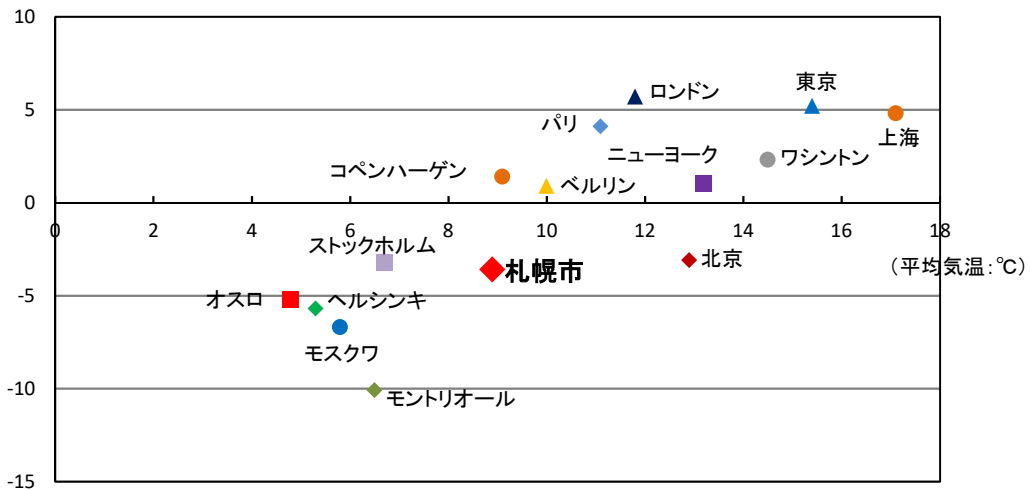


注: 全国は北海道を除く  
 資料: NITAS(総合交通分析システム) Ver.2.6(2020年3月)を用いて集計

## 気候

札幌市の年平均気温は8.9℃、月別平均気温の最も低い1月の平均気温は-3.6℃であり、世界の主要都市と比べ低い。

### (最低気温:℃) 世界の主要都市の平均気温・最低気温



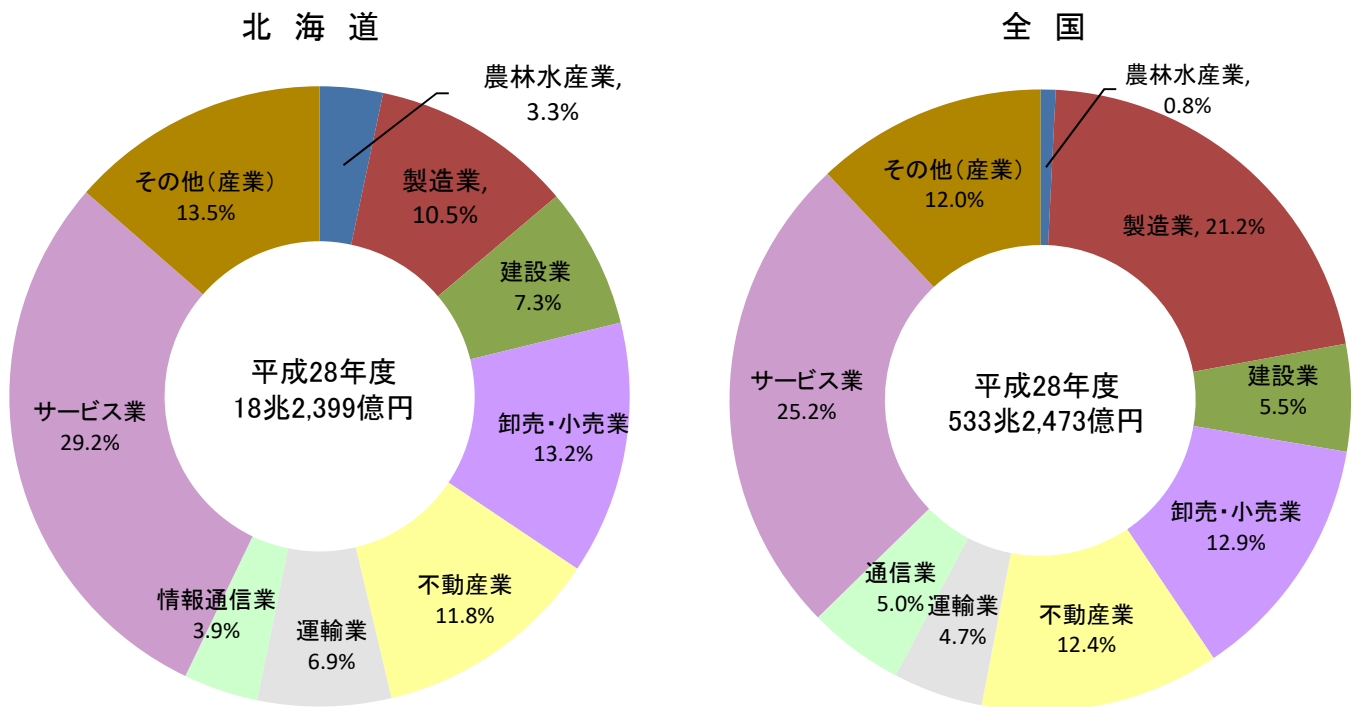
注: 平均気温は1981年から2010年までの年平均値、最低気温は月別平均気温の最も低い月の月平均値である。  
 (都市により調査期間が異なる場合がある)

出典: 国立天文台編「理科年表(2020年)」

## 経済・産業

道内総生産は18兆2,399億円であり、産業構造は全国に比べ農林水産業の構成比が高く、製造業は低い。

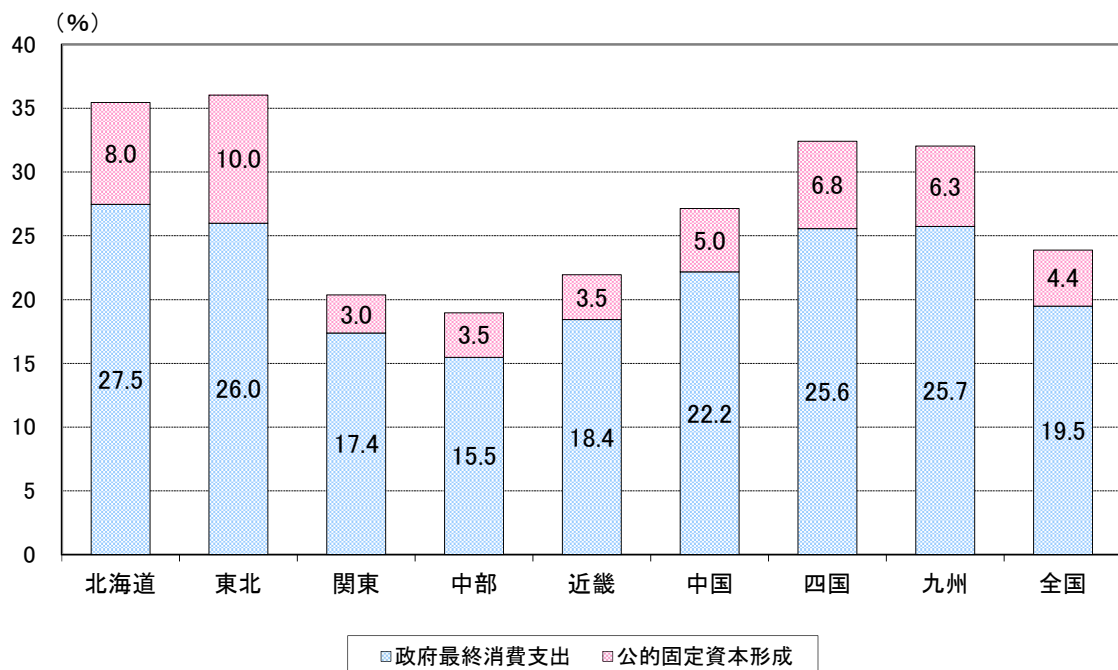
総生産(実質)の構成比



出典: 内閣府「県民経済計算(平成28年度)(2008SNA、平成23年基準計数)」

道内総支出に占める公的支出の割合は35.5%であり、全国の23.9%と比べ大きい。

地域ブロック別県内総支出(実質)に占める公的支出の割合(平成28年度)

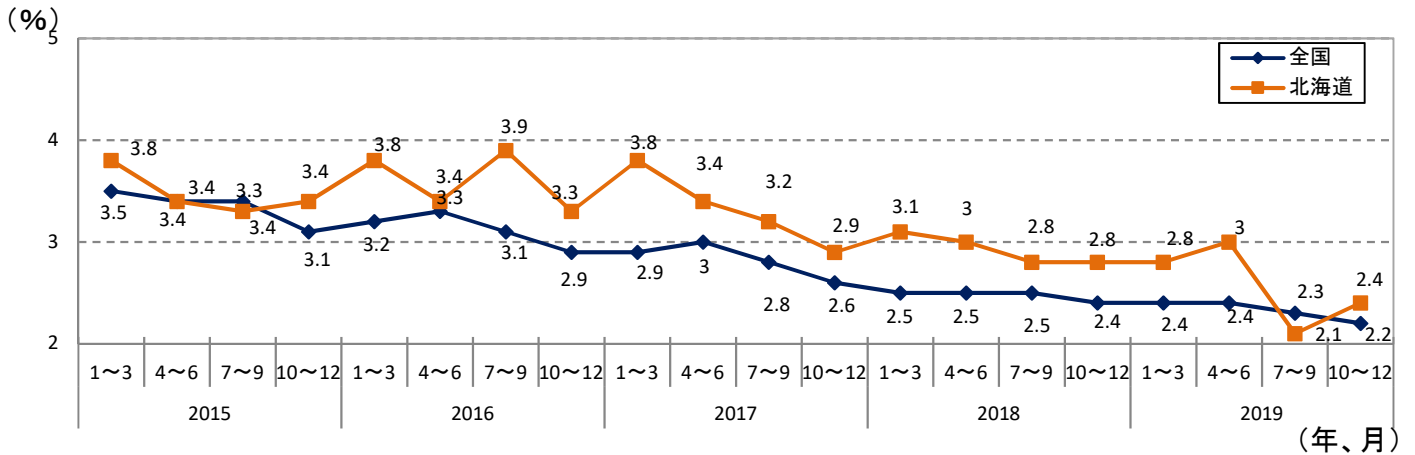


出典: 内閣府「県民経済計算(平成28年度)(2008SNA、平成23年基準計数)」

# 雇用

## ①完全失業率の推移

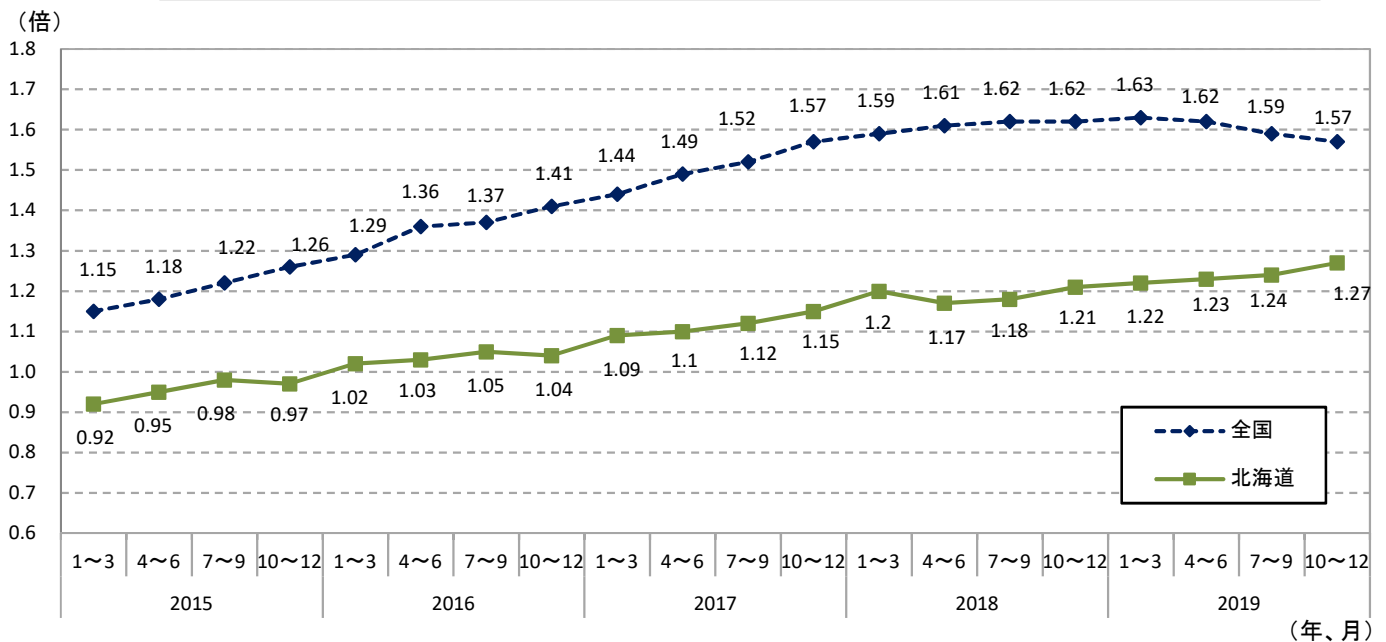
北海道の完全失業率は、長期にわたり全国を上回って推移する傾向にあり、雇用情勢は厳しい状況が続いている。



注：原数値  
出典：総務省「労働力調査」

## ②有効求人倍率の推移

北海道の有効求人倍率は、全国と比較して低調に推移している。



注：季節調整値。パート含む。

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

# 農業

北海道では、全国の約4分の1の耕地面積を活かした生産性の高い農業を展開している。平成30年の農業産出額は1兆2,593億円で、全国の約14%を占めている。

## 北海道農業の現状

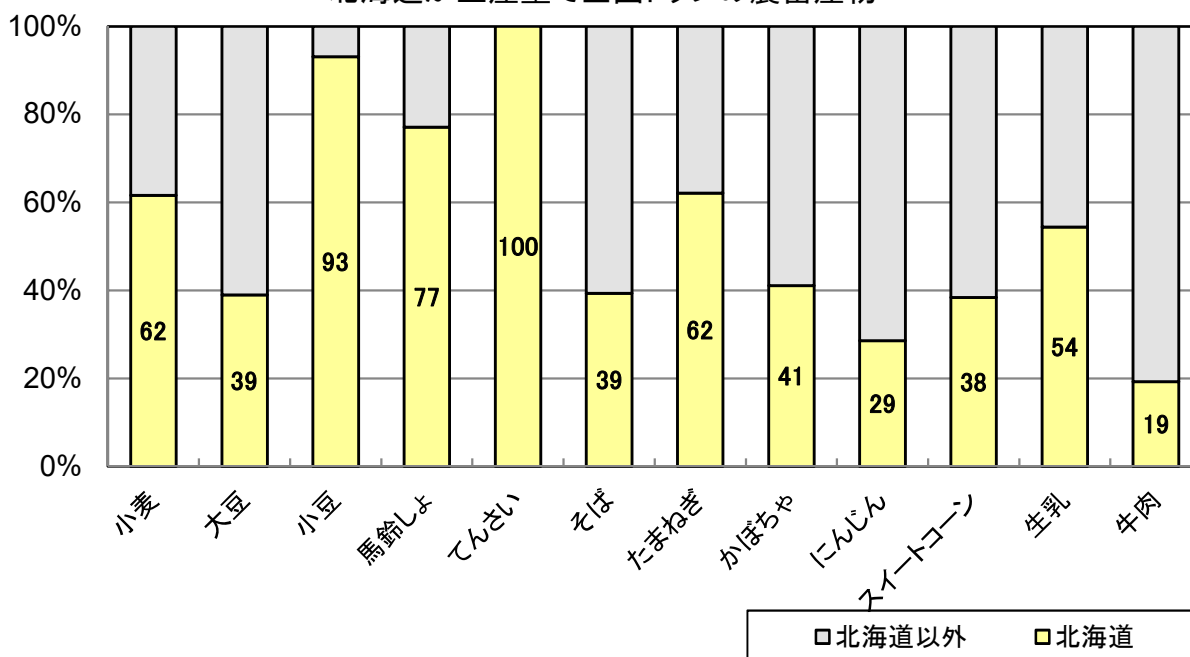
内訳	単位	北海道	全国	全国比	調査年
総農家戸数	千戸	44	2,155	2.1%	H27
販売農家戸数	千戸	35	1,130	3.1%	H31
うち主業農家	千戸	25	236	10.6%	H31
農業就業人口(販売農家)	千人	88	1,681	5.2%	H31
耕地面積	千ha	1,144	4,397	26.0%	R1
1経営体当たり経営耕地面積(農業経営体)	ha	28.5	3.0	9.5倍	H31
家畜飼養頭数					
乳用牛	千頭	801	1,332	60.1%	H31
肉用牛	千頭	513	2,503	20.5%	H31
1戸当たり乳用牛頭数	頭	134.2	58.5	2.3倍	H31
農業産出額	億円	12,593	91,283	13.8%	H30

注:内訳中、1経営体当たり経営耕地面積及び1戸当たり乳用牛頭数の全国値は、北海道を除く都府県の値である。

出典:農林水産省「2015年農林業センサス」、「平成31年農業構造動態調査」、「令和元年耕地面積及び作付面積統計」、「平成31年畜産統計」、「平成30年生産農業所得統計」

品目別の生産量(平成30年)では、小麦、小豆、馬鈴しょ、てんさい、たまねぎ、生乳等多くの品目がシェア全国一となっている。

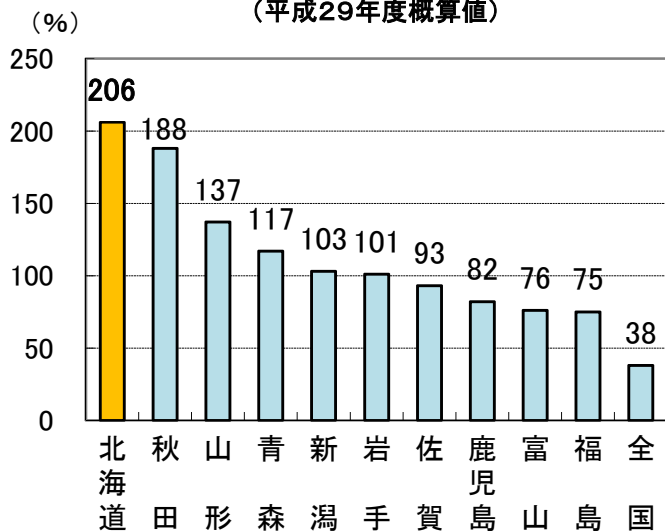
## 北海道が生産量で全国トップの農畜産物



出典:農林水産省「平成30年野菜生産出荷統計」、「平成30年作物統計」、「平成30年牛乳乳製品統計」、「平成30年畜産物流通統計」

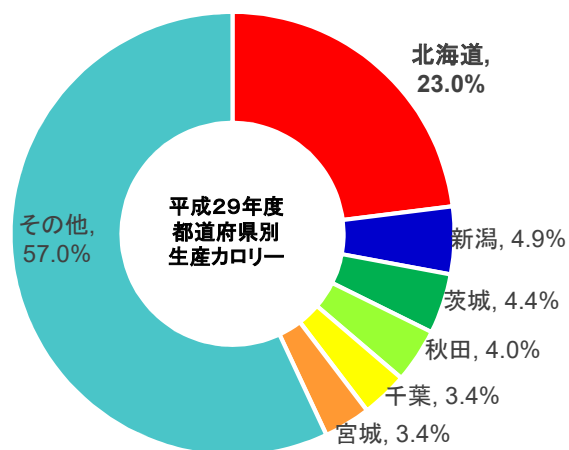
北海道の食料自給率は206%（平成29年度、概算値）であり、我が国における食料の安定供給に重要な役割を發揮している。

都道府県別カロリーベース食料自給率(トップ10位)  
(平成29年度概算値)



出典：農林水産省「都道府県別食料自給率」

食料自給力の国内シェア  
(カロリーベース)



資料：農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室「平成29年度(概算値)、平成28年度(確定値)の都道府県別食料自給率」「都道府県別食料自給率の計算方法について」及び総務省統計局「都道府県、男女別人口及び人口性比-総人口、日本人人口(平成29年10月1日現在)」を基に北海道局にて作成

## 水産業

平成30年の海面漁業・養殖業生産量は99.6万トンで全国436万トンの約22%を占めている。また、産出額は2,750億円と全国1兆4,238億円の約19%を占めており、いずれも全国第1位となっている。

### 北海道水産業の現状(平成30年)

(単位：千t(生産量)、億円(産出額)、%)

区分	北海道		全国		全国比	
	生産量	産出額	生産量	産出額	生産量	産出額
海面漁業・養殖業	996	2,750	4,364	14,238	22.8%	19.3%
海面漁業	877	2,382	3,359	9,377	26.1%	25.4%
海面養殖業	119	368	1,005	4,861	11.8%	7.6%

出典：農林水産省「平成30年漁業・養殖業生産統計」、「平成30年漁業産出額」

## 林業

北海道の森林面積は、全国の約22%を占めており、二酸化炭素の吸収源として、地球温暖化防止に重要な役割を果たしている。

平成30年の素材生産量は全国の約15%を占め、東北、九州と並ぶ木材の一大供給基地となっている。特に、カラマツは全国の約7割となっている。

北海道林業の現状

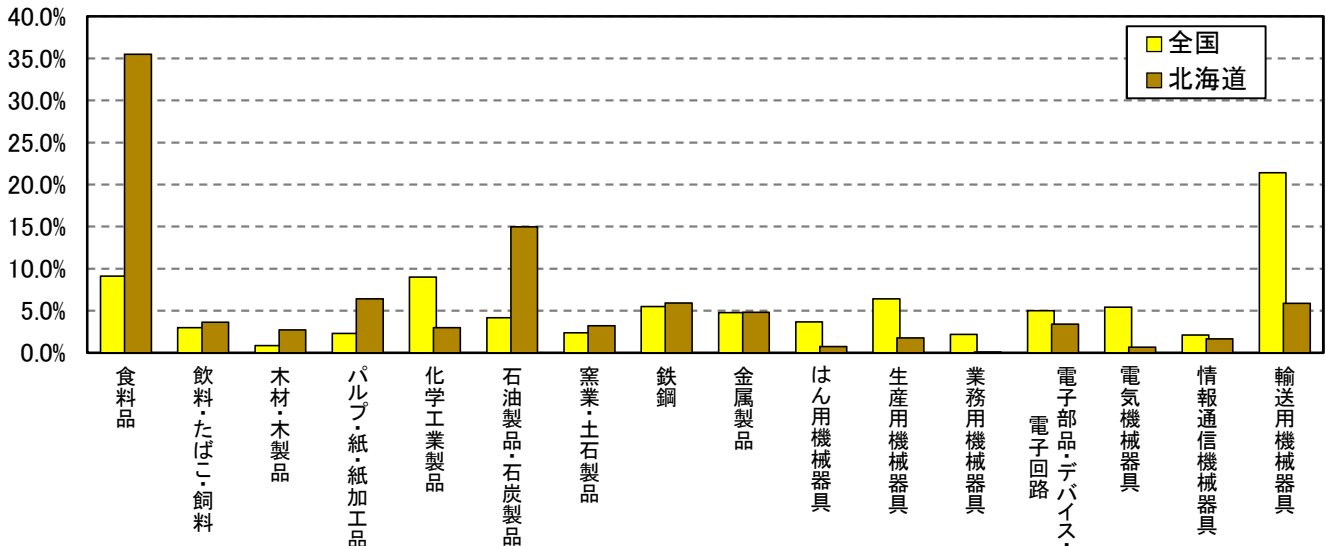
項目	単位	北海道	全国	全国比	調査年
森林面積	万ha	554	2,505	22.1%	H29.3.31現在
林業産出額	億円	468	4,629	10.1%	H30年
国産材生産量	万m <sup>3</sup>	334	2,164	15.4%	H30年
うちカラマツ	万m <sup>3</sup>	154	225	68.3%	

出典：農林水産省「平成30年林業産出額」、「平成30年木材統計」、林野庁「森林資源の現況」

## 工業

北海道の製造品出荷額構成比は、農水産物を加工する食料品が大きい一方で、機械類が小さい。

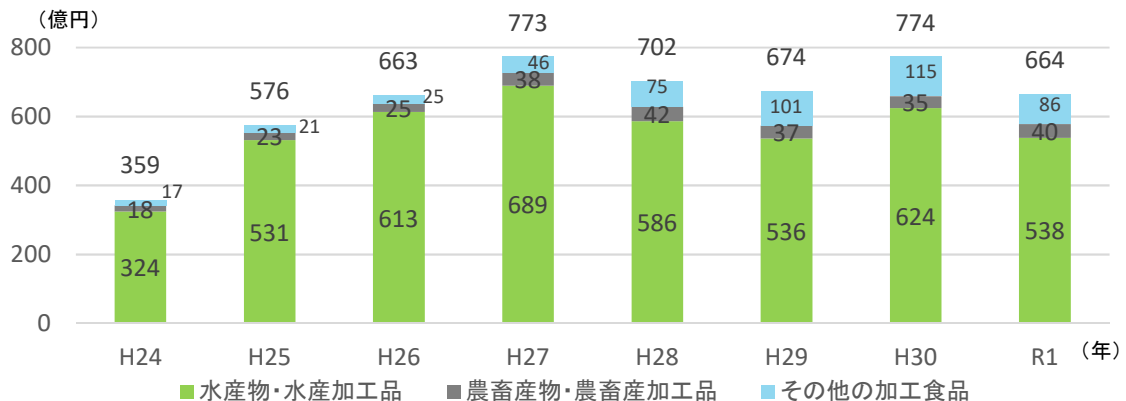
主な産業別製造品出荷額構成(平成29年)



出典：経済産業省「平成30年工業統計調査」

## 道産食品輸出

道産食品輸出額は、平成30年には前年度を上回ったが、令和元年は平成29年度から10億円、前年から110億円減の664億円となっている。



出典：北海道「北海道食の輸出拡大戦略＜第Ⅱ期＞推進状況報告書＜2019年(1月～12月)＞」

# 観光

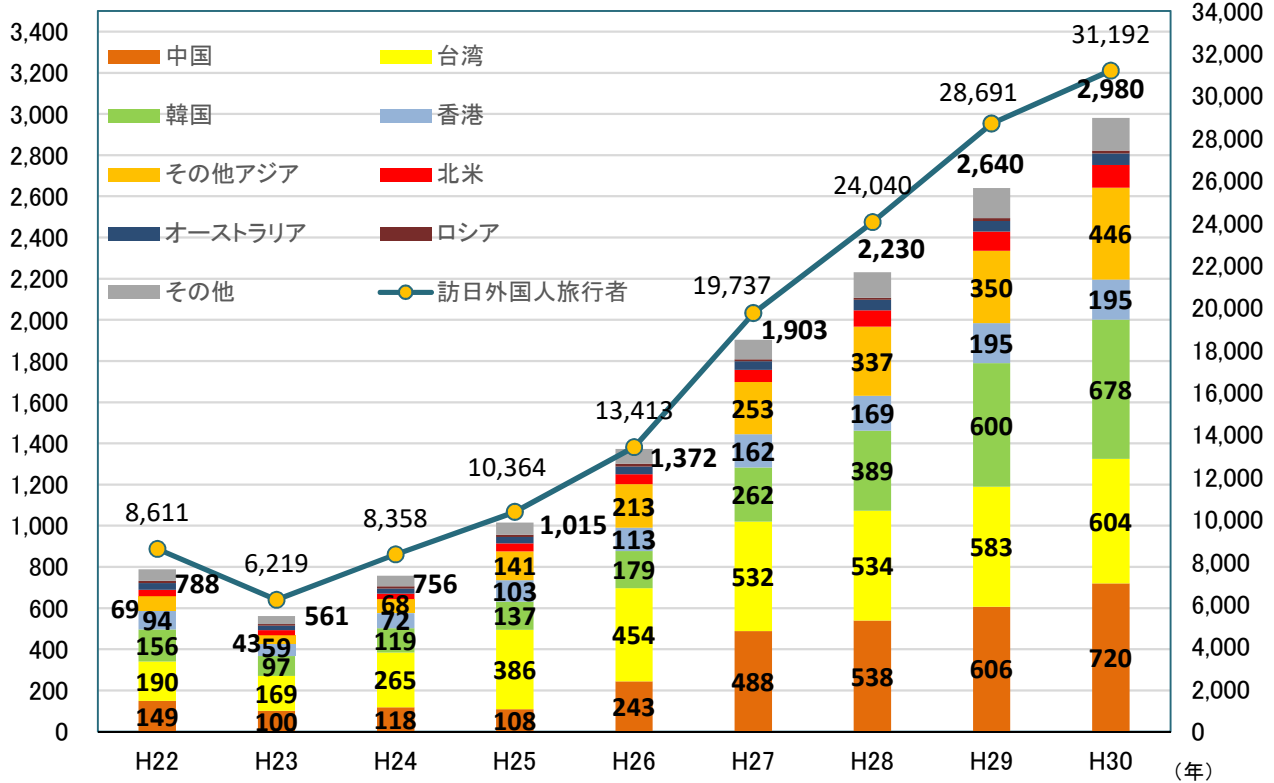
平成30年の訪日外国人来道者数は、アジア圏の北海道人気や観光事業者等の地域資源を生かした商品造成等の取組のほか、国際定期便の新規就航や増便が追い風となるなどの増加要因から、胆振東部地震の影響はあったものの、前年に比べて約13%増加し、298万人となり、過去最高を更新。

なお、これは日本全体の平成30年訪日外国人旅行者3,119万人の約10%となっている。また、訪日外国人来道者数の増加に伴い、外国人レンタカー貸渡台数も増加している。

## 訪日外国人旅行者数と訪日外国人来道者数の推移

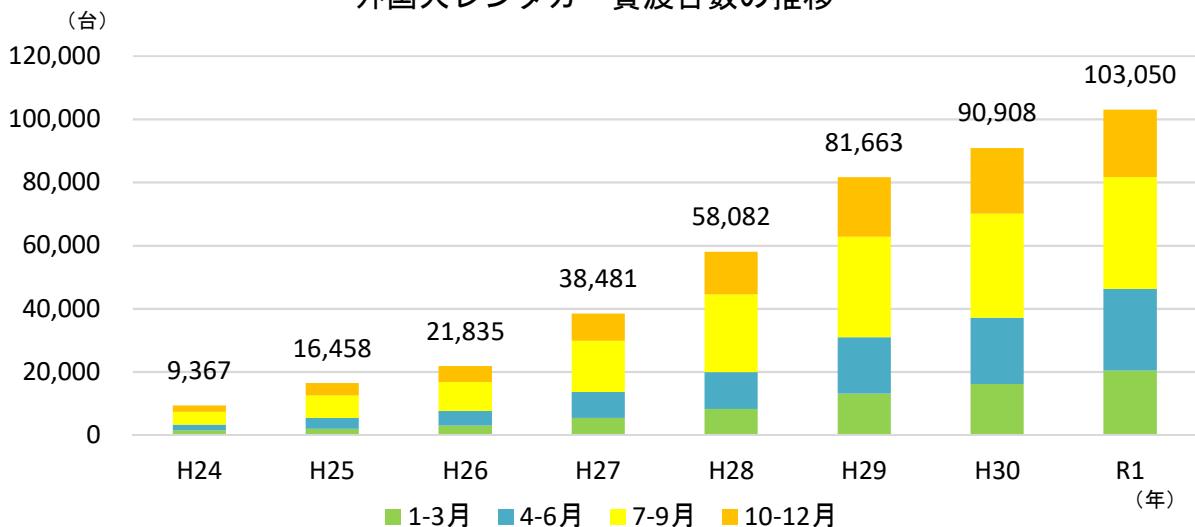
(訪日外国人来道者:千人)

(訪日外国人旅行者:千人)



出典：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」、日本政府観光局「訪日外客数統計」

## 外国人レンタカー貸渡台数の推移



出典：北海道地区レンタカー協会連合会調べ

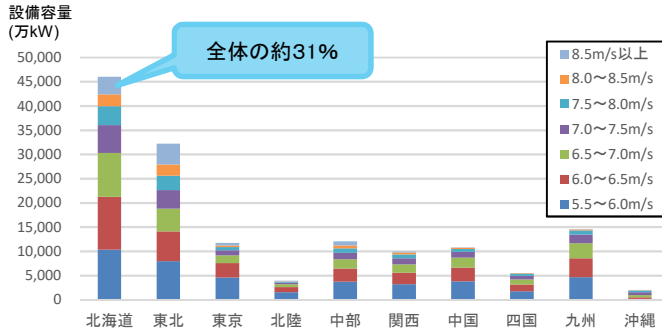




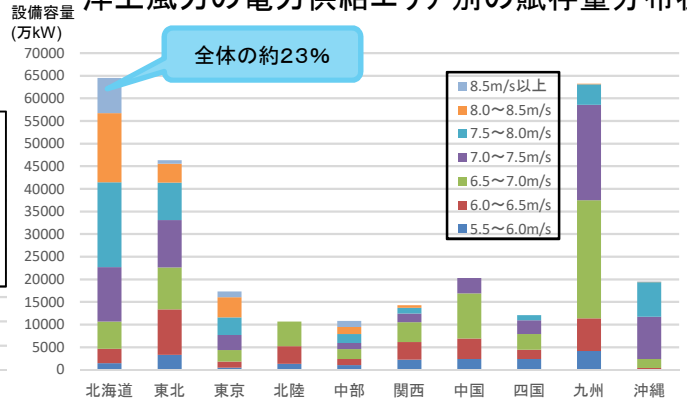
# エネルギー

北海道は太陽光、風力、地熱、バイオマス、雪氷冷熱などの再生可能エネルギー等の賦存量が豊富であり、その利活用の促進が見込まれる。(例:陸上風力の電力供給エリア別の賦存量は全体の約31%。洋上風力の電力供給エリア別賦存量は全体の約23%)

陸上風力の電力供給エリア別の賦存量分布状況



洋上風力の電力供給エリア別の賦存量分布状況



出典: 環境省「平成27年度再生可能エネルギーに関するゾーニング基礎情報整備報告書」

北海道の1人当たりの温室効果ガス排出量[13.1t-CO<sub>2</sub>/人]は、冬期間が長く積雪寒冷地域であること、広域分散型社会であることなどから、全国平均[10.3t-CO<sub>2</sub>/人]よりも多くなっている。

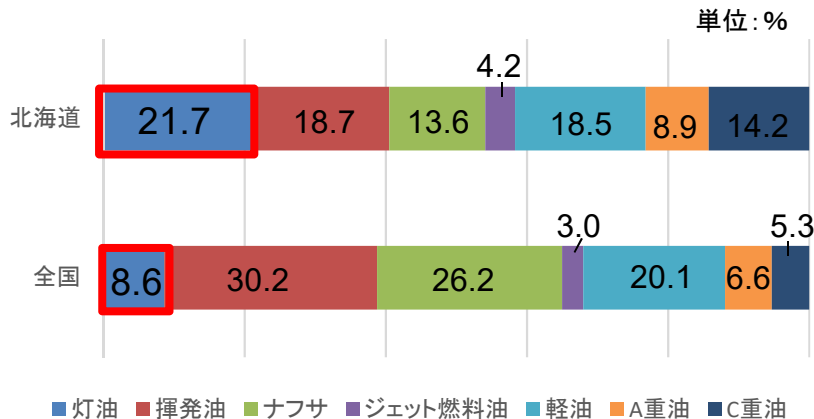
全国の温室効果ガス排出量との比較(平成28年度)

区分	北海道	全国
温室効果ガス排出量	7,017 万 t-CO <sub>2</sub>	130,800 万 t-CO <sub>2</sub>
1人当たり	13.1 t-CO <sub>2</sub> /人	10.3 t-CO <sub>2</sub> /人

出典: 北海道「北海道の温室効果ガス排出実態調査について」

積雪寒冷地域の北海道では、暖房に使用する灯油の割合が大きい。

石油製品需要構成比(平成30年度)



出典: 北海道「北海道経済要覧2019」

